

第24回 交通大学

これからの交通社会を見据えた安全教育のスタイル

令和元年の第23回「交通大学」以来、コロナ禍の4年間ご無沙汰しておりましたが、このたび第24回の交通大学を開催することができましたこと、皆様とともに喜び合いたいと思います。

この空白の間に、多くの方から「交通大学はどうなった?」「是非開催して欲しい」などのご心配と励ましの言葉をいただき、今日に至りました。誠にありがとうございます。

岡山の地から全国に向けて20年余り、細々とはありましたが安全で快適な交通社会の実現のために、情報発信をし続けることができていたのは皆様のお力添えがあればこそと、改めて感謝申し上げます。と同時に、私どもの責任の重さを痛感しているところであります。

さて久々の交通大学ですが、コロナ禍中にも著しく変化する交通社会のあり様を見逃すことなく、時代の要請を念頭に置きつつ交通安全教育と向き合おうと考えました。

そこで今回の講座では、「外国籍の方への交通安全教育」、「発達障害者の指導における留意点」、「交通手段の乏しい地域交通の改善」、そして「自転車におけるヘルメット着用の努力義務」をコアテーマに、解決すべき新たな課題を掘り下げながら問題提起をして行くことにいたしました。

各講座にはその道に造詣の深い方々を講師にお迎えし、コロナ禍後の新たな交通社会を展望していただきます。ご参集いただく皆様と共に学び、各自が考え、そして皆で明日からの理想的な交通社会の構築に向けてご尽力くださることを衷心よりお願いいたします。

NPO法人 安全と安心 心のまなびば 理事長
川崎医療福祉大学 名誉教授

コーディネーター 金光義弘

第1講座

外国籍の方への教習サポート

ー Globalチームの取り組みについて ー

あさだ かつこ
浅田 克子

八尾自動車教習所 安全推進部長

第2講座

発達障害と免許取得

す わ としあき
諏訪 利明

川崎医療福祉大学 医療福祉学部医療福祉学科 准教授

第3講座

高齢ドライバー及び交通弱者における喫緊の課題

岡山県内の公共交通の現状と課題

岡山県 県民生活部 県民生活交通課

具体的な取り組み事例紹介

久米南町 総務企画課

特別講演

大地の花束

ー 交通事故による突然の別れ、大地の部屋に残されていた花束は母親への誕生日プレゼントでした ー

わたなべ あきひろ
渡邊 明弘 愛媛県松山市在住 交通事故被害者遺族

日時

令和5年10月2日(月)

受付開始 9:45 終了 15:50

※詳細なスケジュールは裏面をご覧ください。

受講料

受講料 無料(ご参加の際には必ずお申し込みが必要です)

※昼食をご希望の方は 1,000円(税込) が必要となります。

※定員(110名)になり次第締め切らせていただきます。

会場

ターミナルスクエア

岡山市北区駅元町1番4号(岡山駅より徒歩1分)

※会場に駐車場はありません。お車でお越しの場合は近隣のコインパーキング等のご利用をお願いします。

主催

マイクロメイト岡山株式会社

NPO法人 安全と安心 心のまなびば

お申込み お問合せ

マイクロメイト岡山株式会社 交通教育ソリューション事業部

岡山市北区奥田本町22-4 〒700-0932 TEL.086-231-0900 FAX.086-226-4084

第1講座 外国籍の方への教習サポート

— Globalチームの取り組みについて —

浅田 克子 八尾自動車教習所 安全推進部長

日本の高齢化が加速している一方で、就業・就学・結婚など日本に生活基盤を持つ外国人在留者や永住者の方が増えています。それに伴い運転免許取得を希望する外国籍の方も増加しています。免許取得はもちろんのこと、「安全」「安心」に運転するためのサポートができるよう Global チームを立ち上げ活動を始めました。今回はチームの活動事例を中心にご紹介したいと思います。

第2講座 発達障害と免許取得

諏訪 利明 川崎医療福祉大学 医療福祉学部医療福祉学科 准教授

発達障害のある人たちが運転免許を取得することは、不可能なことなのでしょうか？「障害があるから難しい」と決めつけてしまう前に、周囲が考えておくべきことがあるような気がします。それは、彼らにとっての「公正さを担保すること」です。多くの人にとってはあたりまえの通常の仕組みの中に潜む、彼らにとっての難しさは何なのか？発達障害の人たちの視点から考えた、そうした難しさを補う工夫についてお伝えできれば、と思います。

第3講座 高齢ドライバー及び交通弱者における喫緊の課題

岡山県内の公共交通の現状と課題

岡山県 県民生活部 県民生活交通課

公共交通は、地域住民の移動手段の確保や観光客などの人の交流の活性化など、地域の生活や経済活動を支える重要な基盤です。

しかし、人口減少や自家用車利用の増大、また、このたびのコロナ禍の影響で、公共交通の利用者が減少しています。

自家用車に頼ることが多い現在ですが、岡山県内の公共交通は今どうなっているのか、そしてこれから公共交通機関とどう付き合っていくべきか、お話をさせていただきたいと思っています。

具体的な取り組み事例紹介

久米南町 総務企画課

公共交通の充実していない中山間地域では運転免許を持っていない、自家用車を持っていない人にとって「日常の足」がないことは生活していくうえで大きな問題です。高齢化率岡山県内 1 位の久米南町では高齢ドライバーも多く、運転免許を返納する方も増えており、町民の移動手段を確保することは行政としても喫緊の課題でした。

利用者の利便性を確保しながら運行費用は抑える、この課題を解決するため AI 配車システムを活用したデマンド交通を導入した久米南町の取り組みをご紹介します。

特別講演 大地の花束

— 交通事故による突然の別れ、大地の部屋に残されていた花束は母親への誕生日プレゼントでした —

渡邊 明弘

今年の4月1日から道路交通法が改正され、自転車に乗る時はヘルメットの着用が努力義務となりました。その時の報道で、愛媛県の自転車ヘルメットの着用率は全国1位という事を耳にされた方もいらっしゃるかと思います。その理由は、愛媛県で自転車通学する高校生はヘルメット着用が義務となっているからです。さらに、その義務化の大きなきっかけになったのが、2014 年に起こった私の長男の命を奪った交通事故でした。もう誰も被害者にも加害者にもなってほしくないと思い、私が愛媛県で広げているユニークな交通安全マナーを今回ご紹介します。きっとみなさんの大切な家族の命、子供たちの命を守る事が出来るはずです。

9:45	受付開始	
10:10	オリエンテーション	開会の挨拶
10:20	第1講座 [70分]	「外国籍の方への教習サポート」
11:30	休憩	昼食
12:30	第2講座 [70分]	「発達障害と免許取得」
13:40	休憩	
13:50	第3講座 [50分]	「高齢ドライバー及び交通弱者における喫緊の課題」
14:40	休憩	
14:50	特別講演 [60分]	「大地の花束」
15:50	閉会の挨拶	閉会の挨拶